

## 第8回キャリア教育優良教育委員会、学校及びPTA団体等文部科学大臣表彰について

平成26年12月15日、文部科学省のホームページにおいて、キャリア教育の充実発展に尽力し、顕著な功績が認められた教育委員会等を表彰する「キャリア教育優良教育委員会、学校及びPTA団体等文部科学大臣表彰」について、本校が受賞団体として決定したことが発表されました。

今回の受賞に関しては、キャリア教育推進協議会の皆様をはじめ、本当に多くの方々にご指導・ご助言・ご支援を頂戴したことが大変大きいものがあったと強く感じております。また、本校には「チーム鹿商」という言葉がありますように、すべての教職員が素晴らしい頑張りとともにチームワークがしっかりと取れていた賜物であったとも受け止めております。

平成27年1月21日（水曜日）の午前10時30分から、国立オリンピック記念青少年総合センター国際交流棟国際会議室において表彰式が開催され、代表校等については、同日13時から、国立オリンピック記念青少年総合センターカルチャー棟大ホールにおいて開催された「キャリア教育推進連携シンポジウム」にて表彰されました。



**資料(その①)** 文部科学省ホームページより転載 [http://www.mext.go.jp/b\\_menu/houdou/26/12/1353755.htm](http://www.mext.go.jp/b_menu/houdou/26/12/1353755.htm)

キャリア教育に関する文部科学大臣表彰の受賞団体を決定しました～「第8回キャリア教育優良教育委員会、学校及びPTA団体等文部科学大臣表彰」～

平成26年12月15日

キャリア教育の充実発展に尽力し、顕著な功績が認められた教育委員会等を表彰する「キャリア教育優良教育委員会、学校及びPTA団体等文部科学大臣表彰」について、このたび、第8回となる今年度の受賞団体が決定しましたので、発表いたします。

なお、表彰式は平成27年1月21日（水曜日）の10時30分から、国立オリンピック記念青少年総合センター国際交流棟国際会議室において行います。また、代表校等については、同日13時から、国立オリンピック記念青少年総合センターカルチャー棟大ホールにおいて開催される「キャリア教育推進連携シンポジウム」にて表彰されます。

### 1 趣旨

この表彰は、キャリア教育の充実発展に尽力し、顕著な功績が認められる教育委員会、学校及びPTA団体等について、その功績をたたえ、文部科学大臣が表彰することにより、キャリア教育の充実を促進することを目的とします。

### 2 被表彰校等について

平成26年度文部科学大臣表彰の被表彰校等は、小学校15校、中学校24校、高等学校26校、特別支援学校5校、教育委員会9団体、PTA団体等14団体の合計93団体です。

被表彰校等は各都道府県・指定都市教育委員会からの推薦を受け、文部科学省が決定しました。別添1を参照してください。

### 3 推薦理由の掲載について

別添2にて、被表彰校等における推薦理由を公表いたします。

### 4 その他

文部科学大臣表彰の被表彰校等への表彰式は、平成27年1月21日（水曜日）10時30分から、国立オリンピック記念青少年総合センター国際交流棟国際会議室において行います。また、代表校については、同日13時から、国立オリンピック記念青少年総合センターカルチャー棟大ホールにおいて開催される「平成26年度キャリア教育推進連携シンポジウム」にて表彰されます。

**資料(その②)** 文部科学省ホームページより転

載 [http://www.mext.go.jp/b\\_menu/houdou/26/12/\\_icsFiles/afieldfile/2014/12/15/1353755\\_02.pdf](http://www.mext.go.jp/b_menu/houdou/26/12/_icsFiles/afieldfile/2014/12/15/1353755_02.pdf)

**平成26年度 キャリア教育優良委員会、学校及びPTA団体等の推薦調書**

**学校 宮城県鹿島台商業高等学校**

当該校は、平成19年度より3年間を見通した系統的なキャリア教育に取り組み、その成果が顕著であることからキャリア教育優良学校として推薦するものである。

これまで、平成19年度からのキャリア教育の取組をもとに、平成22・23年度には宮城県教育委員会の「魅力ある県立高校づくり推進事業」、平成24・25・26年度には文部科学省「東日本大震災からの復興を担う専門人材育成支援事業」の指定校として、地元企業、産業界、県立大学教授、経済産業省、ハローワーク等の行政機関と連携しながら、地域の復興を担う志と専門性を有した人材の育成を行っている。

**【主な取組】**

**1 全学年による「総合的な学習の時間（キャリアの時間）」の実施**

学校独自教材による学習プログラムを作り、雇用問題等の現状を踏まえながら、働くことの意義、社会人としての在り方生き方等を現実的に考える機会としている。

**2 事前指導及び事後指導を重視した就業体験（インターンシップ）の実施**

2学年全員が地元企業を中心に3日間の就業体験を行っている。事前指導として、秘書サービス接遇関係を専門とする外部講師による実技講習会を実施するほか、就業体験で学んだことをまとめ、発表するなど、事後指導を充実することで、勤労観・職業観の醸成を図っている。

**3 キャリアカウンセリングの充実**

全学年対象の二・三者面談やハローワークによるジョブサポーター面談、生徒指導サポーター・キャリアアドバイザー面談など生徒一人一人に対して、きめ細やかな対応をしている。

**4 卒業後の状況調査をもとにしたキャリア教育の検証と改善の実施**

全教職員及びキャリアアドバイザー等による企業訪問を実施し、卒業後3年以内の卒業生全員を対象に卒業後の状況についての実態をきめ細かく把握することで、日頃からキャリア教育の検証及び進路指導の改善を行っている。

**5 起業家教育の推進**

地域の復興を担う専門人材として、専門性を高めるために、3年生対象の起業家教育を行っている。外部の専門家の指導助言を受けながら、地域の活性化に向けて与えられたミッションを解決するため、情報の収集や分析、ディスカッションなどをとおして起業家的資質や能力を育てている。

